

平成19年度

施設名(愛称名)	ハリスの足湯
----------	--------

番号

14

平成 19 年度

施設評価調書

施設の名称.....ハリスの足湯

所管担当課.....観光交流課

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名(愛称名)	ハリスの足湯	番号	14
--------	----------	--------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	ハリスの足湯		2 担当課 担当係	観光交流課 観光戦略係		
3 所在地	下田市2丁目11番10号		4 設置年月	平成12年11月		
5 総合計画の 位置付け	勢いと活力づくり		まちの活力づくり		商業	
	施策体系		中心市街地の活性化		交流・イベントによる交流促進	
	主要事業		ハリスの足湯施設整備事業		ハリスの足湯の管理運営	
6 設置目的	市民の健康増進と観光の振興を図る					
7 設置根拠	下田市足湯施設条例					
8 施設の概要	施設の概要		敷地面積 23.76㎡			
			建築面積 23.76㎡			
	料金体系		料金区分			無料施設
			主な料金			
			減免内容			
			利用料金制度		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	施設運営 方法		直接運営			
			<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度		指定管理者	足湯管理組合
一部委託			委託内容			
直接従事職員		下田市職員数 委託団体職員数				
9 市内の 類似施設	下田市所有					
	民間所有		伊豆急下田駅			
	県所有		道の駅「開国下田みなと」			

平成19年度	施設名(愛称名)	ハリスの足湯	番号	14
--------	----------	--------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成18年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数10年(h12.11~h22.10) ・年間償却額 30万円	
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	9,000,000円	建物減価償却後残高	1,200,000円		
	財源内訳	9,000,000円	市債残高	2,025,000円		
	県支出金		物品減価償却後残高			
	市債	2,700,000円	市債残高			
	一般財源	300,000円	耐用年数10年の算定 構築物:(木造・入湯管及びへい) 3,000,000円÷10年=30万円/年			
物品(*万円以上)						
11 年間経費等推移 (単位:円)	「ハリスの足湯」維持管理決算書:足湯管理組合					
	区 分		H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度予算
	収入	負担金	360,000	360,000		360,000
		タオル売上、利息等	65,000	78,900		60,000
		繰越金	78,853	110,153		
	収入合計		503,853	549,053	0	
	支出	1 施設清掃費	91,350	118,650		130,000
		2 水道・電気料	42,573	76,954		80,000
		3 温泉使用料	171,264	171,264		170,000
		4 清掃・消耗品費	21,434	3,032		10,000
		5 事務・雑費	2,830	452		10,000
		6 事業費	66,679	5,229		30,000
		7 広告宣伝費	0	30,000		60,000
		8 予備費	0	0	0	
	支出合計		396,130	405,581		
	市からの補助金		0	0	0	0
	市からの指定管理料		-	-	-	-
減価償却費		300,000	300,000	300,000	300,000	
市債利子		39,935	36,730	33,033	29,729	
下田市負担年間総経費		339,935	336,730	333,033	329,729	
備考	人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度
		利用者数	9,000人	8,700人	8,600人	8,900人
		参考:利用単位当たり市負担額	37円	38円	38円	37円
	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数					
	開場期間	年中無休				
使用時間	午前9時から午後9まで					
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成19年度	施設名(愛称名)	ハリスの足湯	番号	14
--------	----------	--------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算
	利用者数 の目標値	人	10,000	9,000	8,800	8,900
	" の実績	人	9,000	8,700	8,600	
	目標達成度	%	90.0	96.6	97.7	
選択した指標	成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 他に適当な指標がないため代替指標を選択					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標	市民の健康増進				
		観光の振興				
代替指標	施設利用者数					

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標		区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
活動指標	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						
活動指標	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						
活動指標	目標指導	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						

平成19年度

施設名(愛称名) ハリスの足湯

番号 14

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
	施設の総利用者数等		人				
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	-	-	-	-
	利用単位当たり経費	÷	円/人				
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。			備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。				

その他の指標		区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	千円			
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	千円			
	受益者負担比率	÷	%			
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	千円			
	補正受益者負担比率	÷	%			

平成19年度	施設名(愛称名)	ハリスの足湯	番号	14
--------	----------	--------	----	----

施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	設置目的に沿った利用はされている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	住民は随時利用している。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	年間1万人、1日当たり30人弱の利用者であり、年々減少傾向にあるので、なんらかの工夫が必要。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどのようなものか	平成12年度完成のため、根本的な修繕計画はないが、個別修繕で対応。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	地元の足湯管理組合に委託しており、随時利用者との情報交換はされている。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	競合なし。
		民間においても十分可能な施設なのか	無料施設なので、民間経営には不適と思われる。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	使用料は無料であり、電気料等の維持費は管理組合が支出している。
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	特に近隣施設なし。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどのようなものか	特に具体的な計画利用者数は算出していない。
施設の耐用年数は何年有るのか		実際の耐用年数は不明だが、10年程度を考えている。	
施設の今後の維持経費の算定はどうか		現状は、赤字を免れているが、利用者の減少傾向を考慮して経費の節減を検討する必要がある。	
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	現状は、運営に不可欠な支出がされていると考えられる。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	地元の負担が過大になる可能性がある場合には、検討する必要がある。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	特になし。
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	特になし。
老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか		老朽化した場合、現状の財政状態では改築は無理と思われる。	
地域、民間に譲渡できないのか		タオル販売程度の収入しかないので、民間や地域での経営は難しい。	
その他	施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	可能性なし。	

平成19年度

施設名(愛称名) ハリスの足湯

番号 14

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	
	受益者負担の妥当性	
	実施主体の妥当性	
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	
	サービスの迅速性や利便性など	
サービス面等	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	

平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	
見直し事項	管理委託制度の条例を改正する。平成17年9月議会 指定管理者制度導入する。指定管理者：足湯管理組合 平成17年12月議会

平成19年度

施設名(愛称名) ハリスの足湯

番号 14

施設懸案事項

No.	懸案事項	改修経費	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	充実	(具体的な内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率化等による見直し 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	